

2026年2月27日

各位

碧海信用金庫

株式会社はちどりの
「ハきしんサステナビリティ・リンク・ローン」の契約締結について

碧海信用金庫（理事長：深谷 誠）は、株式会社はちどり（代表取締役：石原 慧子）と、「ハきしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下：ハきしんSLL）」の契約を締結いたしましたので、お知らせします。

本商品を通じてお客様の脱炭素経営に係る取り組みをご支援することで、お客様と共に持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

記

1. 「ハきしんSLL」について

本商品は、お客様がサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）として設定したCO₂排出量削減に関する挑戦目標の達成状況と融資条件が連動し、目標達成時には金利の引き下げを行う融資商品です。

信金中央金庫の組成サポートを活用し、当金庫が策定した本フレームワークは、国際的な原則やガイドラインに適合していることを、株式会社格付投資情報センター（R&I）より第三者評価を受けております。

2. 契約締結先

会社名：株式会社はちどり

所在地：安城市北山崎町北浦50番地

代表者：石原 慧子

事業内容：自動車教習所、ドローン教習所、英語学童保育、安全運転推進コンサル

3. 契約内容

実行日：2026年2月27日

期間：5年

融資金額：非公表

以上

株式会社はちどり サステナビリティ・リンク・ローン概要

【株式会社はちどりの概要】



代表取締役 石原 慧子

<https://www.hachidori.ltd>



- ・株式会社はちどり（以下：当社）は昭和 44 年 4 月に創業及び設立、令和元年 10 月に社名を「株式会社安城自動車学校」から「株式会社はちどり」へ変更。
- ・現代表者は祖父が創業した当社を平成 21 年に継承した。就任後、経営改革と事業の多角化を積極的に推進し、その独自の経営スタイルが注目を集めている。その結果、全国から様々な分野の経営者が当社を視察に訪れるようになった。
- ・平成 26 年 経済産業省「おもてなし経営企業選」に自動車学校業として唯一の選出。

<当社の事業について>

	<p><u>自動車教習所</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安城市で唯一の自動車学校として、「日本で一番事故のないまちづくり」をビジョンに掲げる ・ほめて伸ばす共育(教育)を教習指導方針とする ・最短 14 日で卒業できる「通い合宿コース」も好評
	<p><u>ドローン教習所</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローン操縦の基本から難易度の高い国家資格の取得まで、幅広いプランを通じてスキル向上をサポート ・機体販売や自動車教習所コースでの操縦練習会も開催 ・令和6年8月に水中ドローンの資格取得コースを開始
	<p><u>英語学童保育</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネイティブ講師とバイリンガル講師による学童保育 ・長時間にわたり英語環境で過ごすことで、楽しみながら自然に英語を身につけるというコンセプト ・瑞穂、いりなか八事、星ヶ丘駅前校の 3 校を運営

<当社のサステナビリティ>



【SDGs宣言】

株式会社はちどりは「人の成長を通じ、輝く未来を切り拓く人財の育成に貢献する」の経営理念に基づき、事業活動を通じて生命の尊さを伝え、全ての人へ学ぶ環境作りの支援をします。SDGsの達成に貢献し、地域社会とともに持続的に成長していくことを宣言します。



すべての人に健康と福祉を

- 高機能換気設備を完備
学科教習や仮免学科試験を行う教室やロビー、事務室に高機能換気設備を完備しています。窓を閉めていても換気ができる設備なので、窓を開けることによって生じる室温の変化を防ぐことができます。また熱回収によりエネルギーロスを抑えます。
- エコキャップ運動の支援
社内でのペットボトルキャップを分別してそれをリサイクル業者へ寄贈しています。焼却によるCO₂の発生を抑制し、環境改善と再資源化を促進しています。キャップの売却利益で世界中の子どもたちにワクチンを届けます。(キャップ 860 個でポリオワクチン1人分)



エネルギーをみんなに そしてクリーンに

- 教習コースのLED照明
教習コースや施設の照明の一部をLEDにすることで消費電力を削減しています。
- ハイブリッド車での教習
平成24年にAT(オートマチック)の教習車を全てハイブリッド車に変更しています。
- 完全予約制のスクールバスによる効率化
ガソリンの消費を抑制し、排気ガスを削減しています。



陸の豊かさも守ろう

- 間伐材使用の消毒液噴射機“ウッディーペダール”を導入
安城農林高校の森林環境科の生徒に足踏み式手指消毒液噴射機を作成してもらい、4台導入。消毒液噴射機はヒノキの間伐材(森林の成長過程で密集化する立木を間引く間伐の過程で発生する木)を使用して作成されています。

【サステナビリティ・リンク・ローンのサマリ】

- ・設定したKPIは当社におけるCO₂排出量（Scope1、Scope2）の削減率。
- ・設定したSPTsは2025年2月28日（2024年度）を基準日とする対比により、2031年2月28日（2030年度）にCO₂排出量の削減率16.8%を達成する。
- ・基準日以降、毎年次にCO₂排出量の削減率を公表し、初回判定は2027年2月28日（2026年度）に行う。

SPTsの目標値					
基準日	2025/2/28	基準日時点排出量(単位：t-CO ₂)			461.06
基準日以降各年次	2027/2/28	2028/2/29	2029/2/28	2030/2/28	2031/2/28
基準日比削減率(%)	3.3	6.6	10.0	13.4	16.8

【SPTsの野心性】

- ・当社はScope1、Scope2のCO₂排出量において、2030年度までの国内目標を上回る水準の削減計画を策定している。
- ・当社自身のトラックレコードとの比較についても、野心性が認められる。

【SPTs達成手段】

- ・Scope1については、教習車・スクールバスの運行効率を見直し、アイドリングストップやエコドライブを徹底する。また、電気自動車（EV）充電設備を設置し、教習車やスクールバスのEV転換を検討する。
- ・Scope2の電力については、教室やオフィスの照明をLEDへ転換し、センサー制御による省エネ運用を実施する。また、校舎や事業所の屋上での太陽光発電設備の導入や、再生可能エネルギー由来の電力プランへの切り替えを進める。
- ・Scope3については、教習生や児童、研修受講者への指導の中で、交通安全と環境配慮を結び付けたメッセージを配信し、環境負荷低減に貢献する。

【SPTsの妥当性】

- ・当社から開示を受けた各種資料のほか、当社との対話によるSPTsの妥当性について検証した結果、へきしんSLLのCO₂排出量削減率の基準を満たすものと判断できる。

以上